

# 積雪や凍結路面に係る救急事故に注意しよう

## 《積雪や凍結路面に係る救急事故の発生状況》



### 1 積雪や凍結路面に係る救急搬送人員

毎年12月から3月までの期間に、積雪や凍結路面により滑って転倒した際に受傷する事故（以下「ころび事故」という。）などによる救急事故が発生しています。

令和2年12月から令和3年<sup>1)</sup>3月までの期間では、東京消防庁管内<sup>2)</sup>で8人が救急搬送されており、過去5年間では、972人が救急搬送されています（図1）。

特に積雪の多かった平成29年12月から平成30年3月までは、救急搬送が895人と最も多く、降雪の有無によって救急搬送人員が大きく変化しています。

- 1) 令和3年は暫定値
- 2) 東京都のうち稲城市、島しょ地区を除く地域

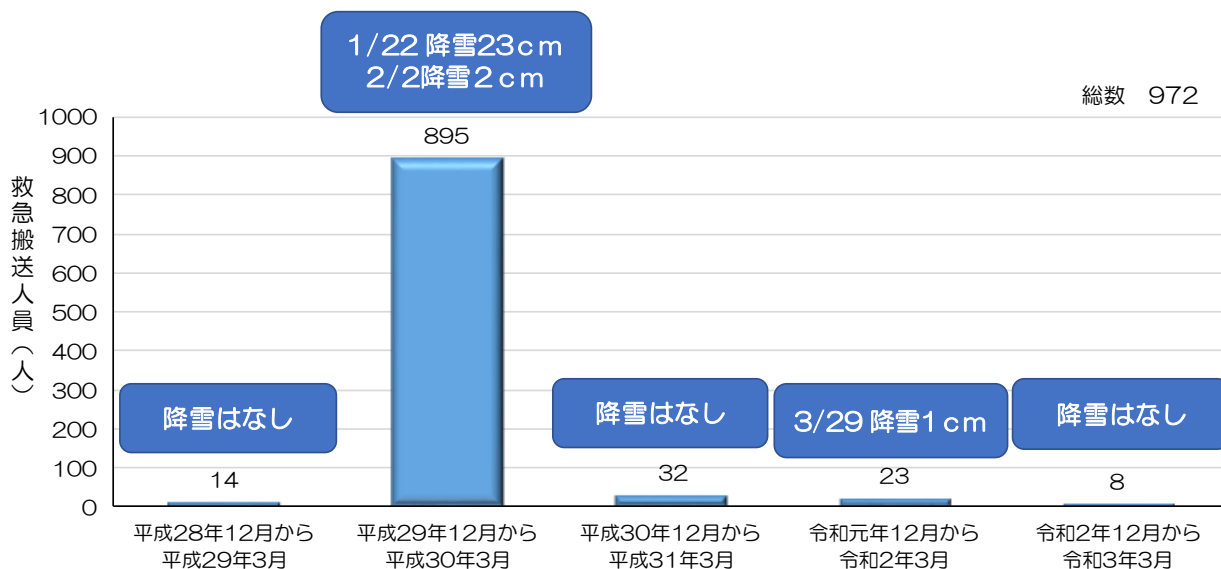


図1 積雪や凍結路面に係る救急搬送人員

## 2 月別の救急搬送人員

月別に見ると1月が874人、次いで2月が74人と多くっており、搬送人員が過去5年間で最も多かったのは、平成30年1月の846人です（表1）。

表1 月別の救急搬送人員（人）

	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年12月から 平成29年3月	4人	6人	4人	0人	14人
平成29年12月から 平成30年3月	4人	846人	43人	2人	895人
平成30年12月から 平成31年3月	0人	6人	26人	0人	32人
令和元年12月から 令和2年3月	0人	9人	1人	13人	23人
令和2年12月から 令和3年3月	1人	7人	0人	0人	8人
合計	9人	874人	74人	15人	972人

## 3 気象状況と救急搬送人員の関係

救急搬送人員の最も多かった平成30年1月について、気象状況<sup>3)</sup>と救急搬送人員の関係をみると、22日に降雪があり、降雪後の数日間は路面凍結などの理由により「ころび事故」が発生するなど、1月だけで846人が救急搬送されています（図2）。

3) 気象庁の気象統計情報の東京で観測・測定した数値を使用

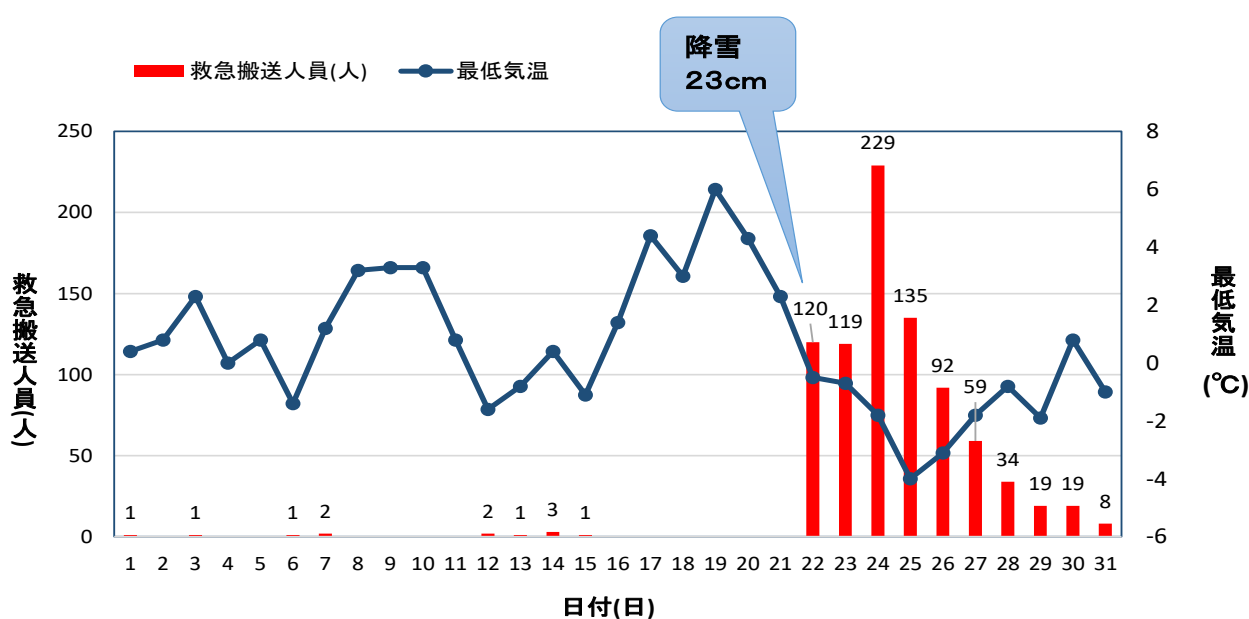


図2 気象状況と救急搬送人員（平成30年1月）

#### 4 年齢層別救急搬送人員

年齢層（5歳単位）別にみると、65歳から69歳が106人と最も多く救急搬送されています（図3）。

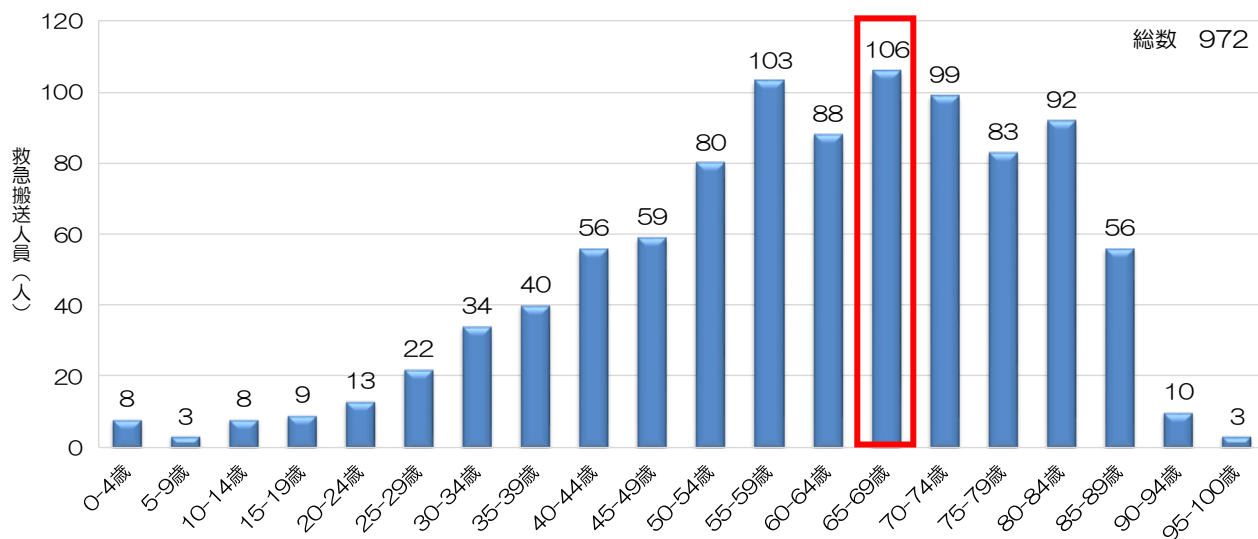


図3 年齢層別救急搬送人員（過去5年）

#### 5 初診時程度別救急搬送人員

初診時程度別にみると、約4割が中等症以上と診断されています（図4）。

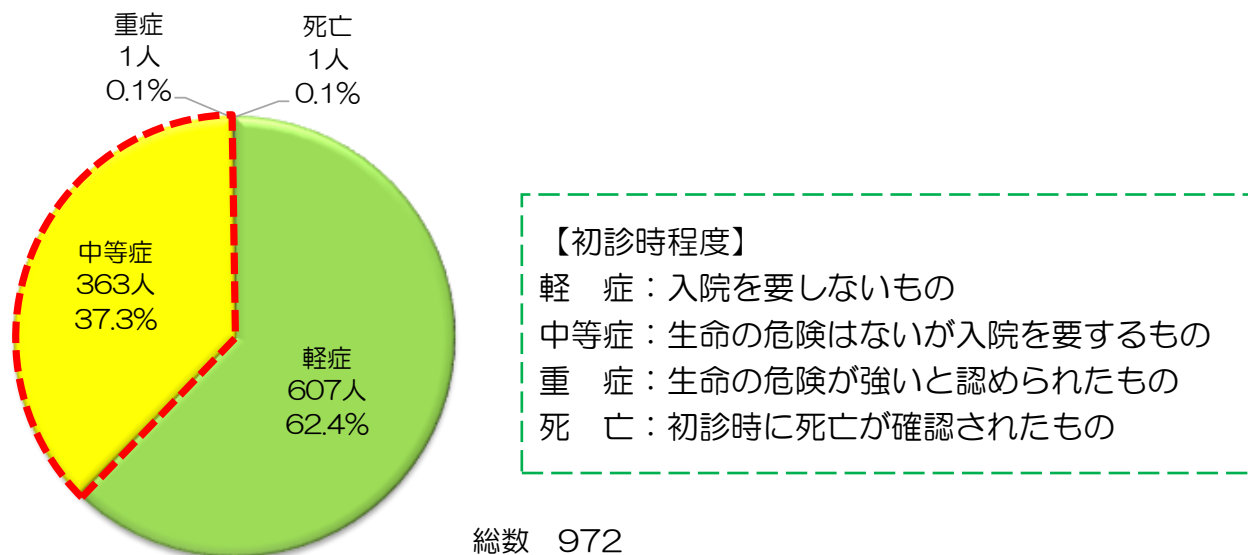


図4 初診時程度別救急搬送人員（過去5年）

## 《事故事例及び予防策》

### 1 事故事例

#### 雪かき中に・・・

自宅の玄関前で雪かきをしていたところ、尻餅をつくように転倒し、歩けなくなった。(80代 中等症)

#### 外で滑って・・・

自宅前の駐車場で凍結した地面に足を滑らせて転倒し、足を受傷した。  
(60代 軽症)

#### 通勤中に・・・

通勤途上、歩道橋の上で凍結した路面に足を滑らせて転倒し、腰部を受傷した。  
(70代 中等症)

### 2 予防策

○靴は滑りにくいものを選びましょう。

○足元に十分気を配りゆっくりと歩きましょう。

○降雪後の数日間は、事故が多いことから、特に注意を払いましょう。

○天候を事前に情報収集し、残雪や凍結路面を避け、余裕を持って行動しましょう。

《病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら… 「#7119」》

病院？ 救急車？ 迷ったら…

# #7119

☎ **電話で相談**  
東京消防庁救急相談センター

💻 **ネットでガイド**  
東京版救急受診ガイド

こちらからも **23区** 03-3212-2323  
つながります **多摩地区** 042-521-2323

東京消防庁    東京都医師会    東京都福祉保健局

知ろう 使おう #7119 (作者 古川 康平さん 府中市在勤)

1 「#7119」東京消防庁救急相談センター

東京消防庁では、急な病気やけがで「今すぐ病院に行ったほうがいいのかな?」、「救急車を呼んだほうがいいのかな?」など迷った際の相談窓口として、東京消防庁救急相談センターを開設しております。

救急相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等の職員）が、医療機関案内と救急相談に24時間・年中無休で対応しています。

「#7119」は携帯電話、PHS、プッシュ回線からご利用いただけます。

その他の電話は、23区は03（3212）2323、多摩地区は042（521）2323からご利用ください。





## 2 東京版救急受診ガイド（日本語・ウェブ版、冊子版）

急な病気やケガをした際に、「今すぐ病院に行くべきか」、「救急車を呼ぶべきか」迷った時に自ら緊急性の判断ができる「東京版救急受診ガイド」を東京消防庁ホームページ上で提供しており、パソコン、スマートフォン、携帯電話から利用することができます。

「東京版救急受診ガイド」は、59の症状から該当する症状について、利用者自らが質問に答えることで、ご自身の症状の緊急性や受診科目、受診する時期などを確認できます。

なお、インターネット環境を持たない都民向けに冊子版も提供しています。

「東京版救急受診ガイド」をいつでも利用できるように、下記のQRコードを携帯電話またはスマートフォンで読み取り、登録しましょう。

## ウェブ版の利用方法・サービス内容

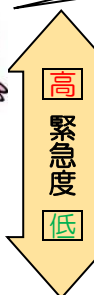
スマートフォン・携帯電話やパソコンから東京消防庁ホームページにアクセスして『東京版救急受診ガイド』をご利用ください。

<3つのアドバイスを提供>

- けがや病気の緊急性
- 受診する時期
- 受診する科目

※リンクから受診可能な病院検索もできます。

※緊急性があると思われる場合は、**ためらわず救急車（119番）をお呼びください。**



ウェブ版・冊子版ともに、チェックした質問により病気やケガの緊急性などのアドバイスを確認できます。

赤	救急車を要請（今すぐ119番へ）
橙	今すぐに受診（1時間以内に病院へ）
黄	これから受診（6～8時間以内に病院へ）
緑	明日には受診（24時間以内に病院へ）

スマートフォン  
はこちらから



携帯電話は  
はこちらから



## 3 東京版救急受診ガイド（英語・ウェブ版）

都内で外国の方が急な病気やケガをした際に安全・安心を提供するツールとして、東京版救急受診ガイド（英語・ウェブ版）を東京消防庁ホームページで提供しています。

東京版救急受診ガイド（日本語・ウェブ版）と同様に、59の症状について、利用者自らが質問に答えることで、ご自身の症状の緊急性や受診科目、受診する時期などを確認できます。

東京版救急受診ガイド（英語・ウェブ版）パソコン・スマートフォン用URL

[https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-kyuuumuka/en\\_guide/main/index.html](https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-kyuuumuka/en_guide/main/index.html)

